

令和 年度 上越市地域独自の予算事業補助金 事業結果概要書

(宛先) 上越市長

事業の名称	△△地区高齢者いきいき支援事業		
団体等の名称	△△地区活性化協議会	団体等の所在地	上越市△△区〇〇町〇-〇
代表者氏名	会長 〇〇 〇〇		

(1) 事業を実施した地域自治体名、事業費

地域自治体名	△△ 区
事業費	事業費 1,200 千円 (補助金交付決定額 1,000 千円)

(2) 事業の区分、継続性

事業の区分 ※該当箇所に☑	<input type="checkbox"/> ①地域資源を活用した新たな収入源や雇用の創出等につながる取組
	<input checked="" type="checkbox"/> ②地域での暮らしやすさにつながる助け合い等の取組
事業の継続性 ※該当箇所に☑	<input checked="" type="checkbox"/> これまでに上越市地域活動支援事業を活用して実施した事業の継続的な取組 (地域活動支援事業の最終実施年度: 令和 年度 )
	<input type="checkbox"/> これまでに上越市地域活動支援事業として実施したことのない取組

(3) 事業の実施内容 (事業の実施時期、場所、回数、内容、参加者数など)

<p><b>1 講座、健康・生活相談、子どもたちとの交流会参加者募集</b>  募集期間: 令和〇年6月1日(木)~8月4日(金)  募集方法: 別添チラシを作成し、△△地区内各町内会を通じて回覧板により周知、△△地区センター、各町内会館等に掲出  応募者数: △△地区内高齢者50人</p> <p><b>2 事業の実施方法</b>  ①いきいき講座の開催 令和〇年6月27日(火)~令和〇年2月13日(火)  内 容: 健康づくり、趣味に関することなどの講座を実施した。  開催日: 毎週水曜日  参加者数: 平均45人  <u>※実施した講座の詳細は別紙「活動報告書」を参照ください。</u></p> <p>②健康相談・生活相談 令和〇年6月27日(火)~令和〇年2月15日(木)  内 容: 血圧や受診状況などの健康チェックと健康相談を行うとともに生活相談を実施した。  開催日: 毎週月・水・金曜日実施  参加者数: 平均45人</p> <p>③子どもたちとの交流会 令和〇年6月27日(火)~令和〇年2月15日(木)  内 容: 高齢者が本の読み聞かせや習字、そろばん等を子どもたちに教えた。  開催日: 毎週月・水・金曜日実施  参加者数: 平均25人</p>	<p>研修の日時、参加者数、講師、研修内容等の詳細について、ここで記載しきれない場合は、詳細な事業内容がわかる資料を添付してください。</p>
--	---

(「事業の内容」 続き)

④スタッフ研修会 令和〇年 6 月 29 日 (木) ~8 月 17 日 (木)

内 容：△△地区活性化協議会の運営スタッフが栄養士や市の保健師等から要介護状態を予防するための専門知識を学ぶ学習会を実施した。

開催日：毎週月・水・金曜日実施 (20 回開催)

参加者数：平均 30 人

※実施した研修会の詳細は別紙「活動報告書」を参照ください。

⑤△△地区文化祭の開催 令和〇年 11 月 18 日 (土)・19 日 (日)

内 容：いきいき講座や子どもたちとの交流事業などで実践してきた成果を発表する場として文化祭を実施した。

作品数：50 人から 200 点 (子ども：30 人から 50 点)

延べ入場者数：400 人

※実施した文化祭の内容の詳細は別紙「活動報告書」を参照してください。

⑥テキストの作成

内 容：スタッフ研修会で学んだ情報をまとめてテキストを作成し、広く地区住民等に配布した。

編集には、高齢者からも参加いただき、必要な情報についてイラストなどを使い、わかりやすく紹介。また、高齢者の声として地区周辺の医療機関の情報などを掲載 (参加者、住民へ配布 3,000 部)

(成果物としてテキストを添付します)

作成したチラシやテキストなどの印刷物があれば提出してください。

(4) 事業の目的及び期待する効果 (今回の事業で当初設定した目的と期待する効果)

取組提案書などを参考に、最終的に設定した数値などをお書きください。

【事業の目的 (当初)】

- ・ 高齢者が要介護状態になることを防ぐため、加齢に伴う筋力低下や生活機能低下者への支援を行い、元気で自立した高齢者が多いまちづくりを目指す。
- ・ △△地区に住む高齢者の生きがいがいづくりに寄与するとともに、多くの住民等による交流の場を確保することにより、地域全体で支え合う機運の醸成を図る。

【期待する効果と数値目標 (当初)】

[期待する効果]

- ・ 要支援・要介護認定者数の増加数を緩やかにする。

[数値目標]

1 年間の△△区の要支援・要介護認定者数の増加数 : 10 人以下

〈令和 3 年度中の増加数 (10 人増) よりも、1 年間の増加数を減らす (市ホームページから確認)。〉

(5) 事業評価（成果、効果など）

- A** 計画どおり実施でき、予想以上の成果を得られた  
B：ほぼ計画どおり実施でき、予想していた程度の成果を得られた  
C：計画どおりに実施することができず、予想していた程度成果を得られなかった  
(いずれかに○をつけてください)

評価の理由をお書きください。

【期待する効果に対する実現状況】

- ・ 様々な事業の実施により、高齢者と△△地区活性化協議会のスタッフを中心とした住民、高齢者と高齢者、高齢者と子どもたちなど多くの住民による交流が生まれた。
- ・ 子どもたちとの交流事業や文化祭を通じて高齢者と子どもだけでなく、高齢者と保護者との交流が生まれ、地域全体で子どもを育てる機運の醸成が図られた。
- ・ スタッフ研修会の実施により、スタッフ約 30 人が健康に対する高い専門性を身につけることができた。また、テキストを作成したことにより、学んだ知識をスタッフだけでなく多くの地域住民に紹介することができた。

【数値目標への到達度（実績）】

- ・ 要支援・要介護認定者数の増加数を若干緩やかにすることができた。
- ・ 令和 6 年 2 月末時点の認定者数：○人。前年同月が○人であったことから、増加数は 9 人増であった。令和 3 年度の増加数（10 人増）と比べて、1 人減った。

1 年間の△△区の要支援・要介護認定者数の増加数 : 9 人

(6) 評価を踏まえた今後の活動の見通し

- ・ スタッフ研修会などを通じて、スタッフが専門知識を身につけたことにより、次年度は外部講師に依存せず、相談会等の事業を自前で実施する予定である。
- ・ また、次年度はお弁当サービス事業、放課後児童クラブ事業、地域のシルバー人材派遣事業などを試験的に実施する。

(注) 記入内容が多くなる場合は、適宜ページを増やしてください。

(7) 事業の収支決算書

ア 収入の部

(単位：円)

費 目		予算額	決算額	説 明
上越市地域独自の予算事業補助金		1,000,000	900,000	
自主財源	参加費	120,000	120,000	参加費@300円×50人×8か月
	△△地区町内会長協議会からの補助金	50,000	50,000	
	協賛金	20,000	20,000	10,000円×2社
	実施団体負担金	10,000	10,000	
合 計		1,200,000	1,100,000	

独自の予算事業補助金以外の収入について、内訳を記入してください。

イ 支出の部

費 目		予算額	決算額	説 明
①いきいき講座	報償費	160,000	160,000	講師謝金 @5,000円×32回
②健康相談	報償費	220,000	200,000	相談員謝金 @5,000円×40回（前半の外部相談員分。後半はスタッフが対応）
	備品購入費	44,000	40,000	血圧計 @7,000円×2 体重計 @3,000円×2 握力計 @20,000円
③子ども達との交流会	消耗品費	5,000	5,000	マジック、蛍光ペン、画用紙等 ※別紙明細書のとおり
④スタッフ研修会	報償費	50,000	50,000	講師謝金 @5,000円×10回（市職員以外の講師分）
	印刷製本費	540,000	480,000	テキスト印刷費 @160円×2,000冊
⑤文化祭	会場使用料	5,000	5,000	色紙、模造紙、装飾品等 ※別紙明細書のとおり ポスター印刷費 @100円×200部=20,000円 チラシ印刷費 @20円×1,500部=30,000円
	消耗品費	20,000	15,000	
	印刷製本費	60,000	50,000	
⑥その他	会場使用料	96,000	95,000	
合 計		1,200,000	1,100,000	

支払ったすべての対象経費について、領収書（写し）が必要です。

謝金のような場合も、相手方から領収書をもらうなど支払いがわかる書類が必要です。

説明欄に記載しきれない場合は、明細書など（任意様式）を添付することも可能です。

備考 次に掲げる書類を添付してください。

- (1) 事業の内容が分かる書類（写真・チラシ・プログラムなど）
- (2) 領収書等の写し